

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立本庄小学校)

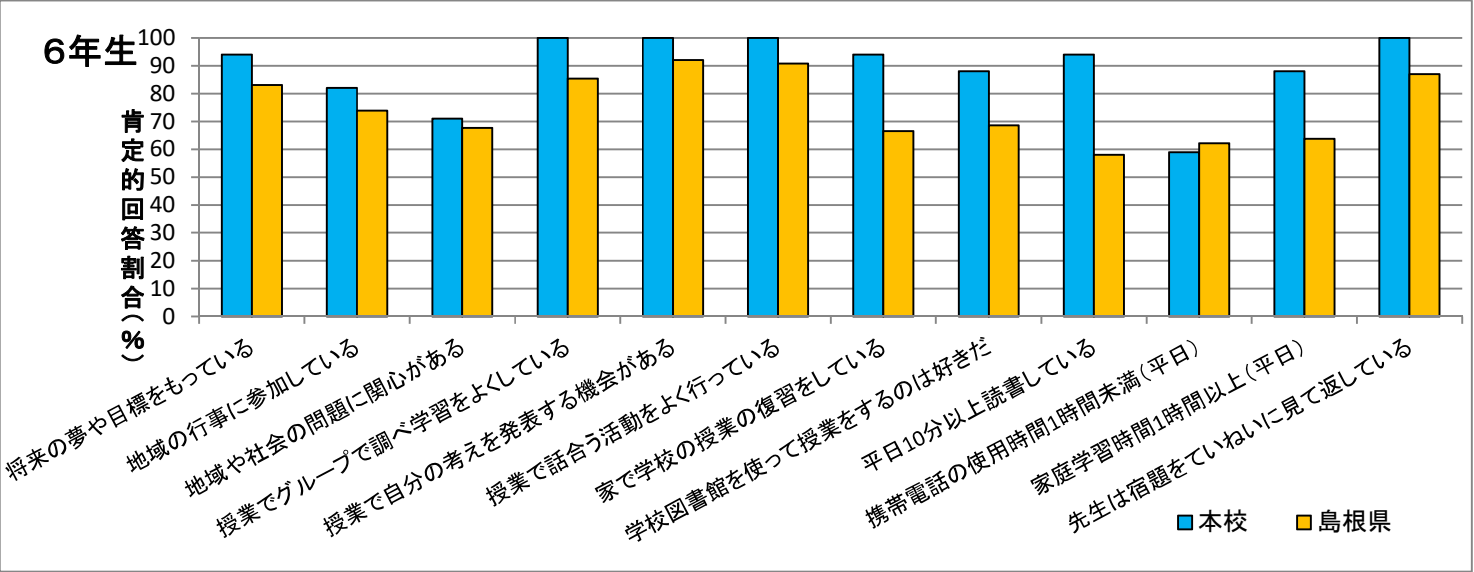
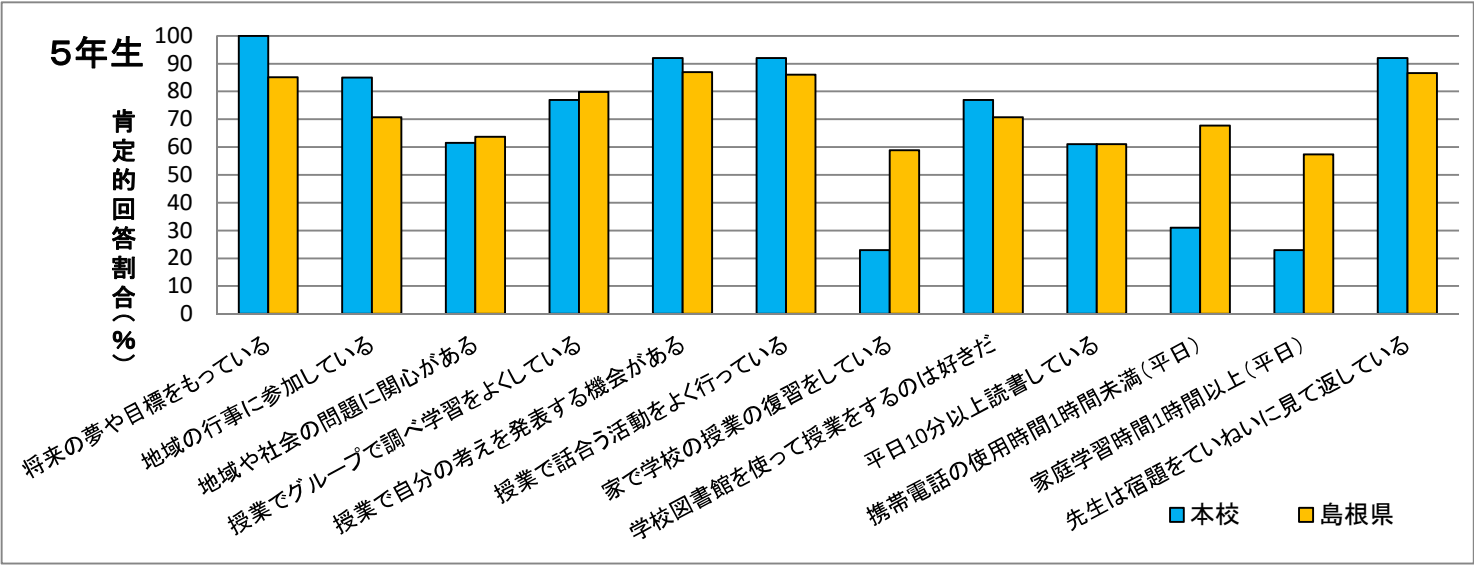
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○描写をとらえ、叙述に注意しながら読むことには強みが見られる。 ○記述式問題では白紙解答がなく、正誤に関わらず何かしら書こうという意欲が見られる。 ●複数の条件を満たして自分の考えを叙述する問題、及びローマ字で書く問題に課題が見られる。	・英語表記とローマ字表記が混同しないよう、ローマ字の復習に加え、パソコンを使った学習で習熟を図る。 ・いくつかの条件を満たして文章を書く学習に重点を置いた指導をする。
	算数	○数量関係を利用して、三角形の個数を言葉と数で説明する問題の正答率が高い。 ○数学的な考え方を問う問題の正答率が高い。 ○異分母分数の加法計算の正答率が極めて高い。 ●数量や図形についての知識・理解を問う問題に課題が見られる。	・数量や図形について得た知識を、問われた条件にあわせて選択し活用する問題を意識的に取り扱う。
6年	国語	○漢字や文法の問題は正答率が高く、県平均を上回った。 ○記述問題の無回答率が少なく、県平均を上回った。 ●複数の条件がある記述式の問題に課題が見られる。	・キーワードに線を引いたり、記号を書いたりしながら読む指導を行う。 ・記述式の問題では、使いたい言葉を回答欄の横にメモしておく等、条件を整理しながらまとめる力をつけていく。
	算数	○どの設問も、基礎的な問題の正答率が高い。 ○公式等を活用して答える問題の正答率が高い。 ●説明はできているが答えを書いているいない等、問題文の完全な読み取りに課題が見られる。	・課題が見られた単元や内容については、全体で復習することに加え、児童自身がつまづきを具体的に把握できるようにし、家庭学習に生かせるよう支援する。 ・問題の数量関係、条件等題意をしっかりと把握するための指導を工夫する。

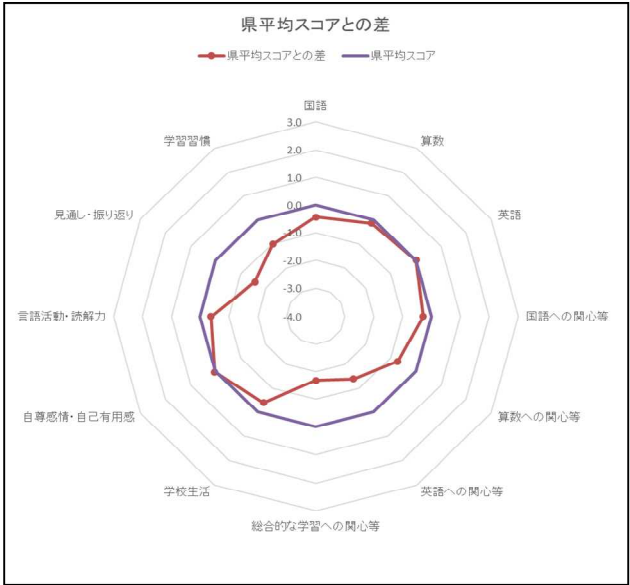
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○学校が好きで、学級全体で課題に向かっていこうという気持ちがある。 ●自分の考えを説明したり、発表したりすることに抵抗感がある。	・ペア学習やグループ学習の機会を増やし、自分の考えを言う場を増やす。 ・スモールステップを取り入れるなどの授業改善を引き続き行い、「分かる」、達成感のある授業づくりに取り組む。
	家庭学習に関わる事項	○宿題をきちんと行う習慣が身についている。 ●家庭学習の時間が少ない。 ●メディア(テレビ・ゲーム等)の接触時間が長い。	・児童だけでなく、保護者にも家庭学習の取り組みへの啓発を図り、メディアとの接触時間、家庭での読書などの協力を依頼する。 ・家庭学習の手引きを活用したり、自学の仕方などについて個別に指導する。
6年	授業改善に関わる事項	○授業改善に関しては、全ての項目において肯定的回答が100%だった。授業にグループでの調べ学習や、自分の考えを発表する機会を継続して取り入れてきたことが、児童の意識向上につながった。	・引き続きペア、グループ学習の機会や発表の機会を設け、伝え合いの質を高めていく。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習の時間が1時間以上の児童が昨年より増えている。復習にも力を入れている。 ●携帯電話の使用時間が1時間未満の児童がやや少ない。	・引き続き家庭での学習時間を確保できるよう個別に支援し、内容についても実態に応じてアドバイスしていく。 ・携帯電話の使用について、メディア学習に取り組むとともに保護者への啓発を行う。

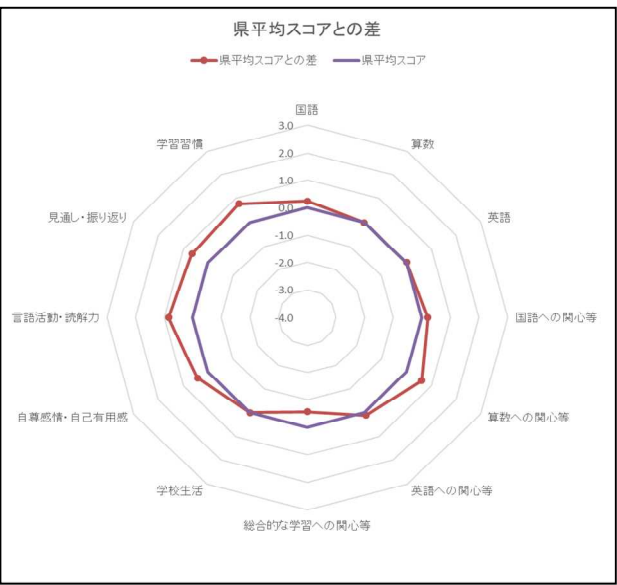
(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート
5年



6年



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	52	55
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 13 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	55	58
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 17 人